

森を想い、未来につなぐ「もりぐらし」



キーワード

森を想い、未来につなぐ。

フィールド

東急リゾートタウン蓼科



活動目的

リゾートには豊かな自然があります。私たちはこの大切な自然環境を次の世代につないでいくために、生態系保全や、川や海も含む自然資源の利活用を持続可能な事業活動として追求する事を目的としています。

活動内容

当社はホテル・リゾート運営業として、地域に根ざし、自然と共生してきました。2017年に「もりぐらし」は、「森をまもり、森とともに暮らす」をコンセプトとし、森林資源の「まもる」「つかう」「つなぐ」のサイクルを通して、豊かな自然環境を未来につないでいく取り組みとしてスタートしました。

東急リゾートタウン蓼科の660haにも及ぶ広大な森林は戦後植林されたカラマツの人工林ですが、保全間伐をしてこなかったため、密集し日差しも届かず下草も育たない鬱蒼とした森でした。ニホンジカの多いエリアで、餌不足のためか別荘地に出現する事も多く、居住者との棲み分けに苦慮していました。集中豪雨による土砂災害が森の持つ力を考えるきっかけとなり、樹木の総成長量を上限として森林経営計画を立て2018年から保全間伐を行っています。間伐後の森は明るくクマザサが繁茂するようになりました。間伐を積み重ね豊かな森が広がれば、生態系もより一層豊かとなり、本来の森の持つ魅力を取り戻すことが出来ていくと期待し、これを契機として間伐による生態系の変化を定性的に追跡調査することを計画しています。

また、お客様に対しても元気になった森を舞台に素敵な過ごし方を提供していく等、私たちはホテル・リゾート運営者として、自然と企業、その双方が豊かになるCSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の考え方を重視し、事業として成立するからこそ持続可能な自然環境、生態系保全を実現していけると考えます。

豊かな森は川や海を育て、地域に恵みをもたらします。私たちは豊かさに満ちた環境を次の世代につないでいくため、森を起点につながりを育みながら、未来の地球を考え続けます。

ポイント

- ◎民間企業として、自然環境・生態系保全をCSRではなく、事業活動として成立させている。
- ◎「もりぐらし」をタウン全体を包括するコンセプトとしてブランディングしている。
- ◎広大な森林の中に別荘地、ホテル、ゴルフ場、スキー場があり、里山の縮図として成果を評価出来る。

活動効果、今後の展開 等

- 全国の多くの森林とともにあるリゾート施設に「もりぐらし」の取り組みを展開していきます。
- 「もりぐらし」を当社のSDGsブランドとして広く对外発信していきます。

東急リゾーツ&ステイ株式会社

<https://www.tokyu-rs.co.jp/>